

令和 5 年 度
学校法人戸早学園 財務諸表等

- ・ 資 金 収 支 計 算 書
- ・ 事 業 活 動 収 支 計 算 書
- ・ 貸 借 対 照 表
- ・ 財 産 目 録

- ・ 事 業 報 告 書
(監 査 報 告 書)

令和5年度 資金収支計算書

千円

科目名	決算額
学生生徒等納付金収入	445,042
寄付金補助金収入	228,828
その他の収入	1,426,427
資金収入調整勘定	△ 206,978
前年度繰越支払資金	408,300
資金収入の部 計	2,301,619
人件費経費支出	710,150
その他の支出	1,129,566
資金支出調整勘定	△ 29,806
翌年度繰越支払資金	491,709
資金支出の部 計	2,301,619

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和5年度 事業活動収支計算書

千円

科目名		決算額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金収入	445,042
		寄付金補助金収入	226,183
		その他の収入	86,458
		教育活動収入 計	757,683
	事業活動支出の部	人件費経費支出	778,029
		その他の支出	75
		教育活動支出 計	778,104
教育活動収支差額		△ 20,421	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	5
		その他の教育活動外収入	2,000
		教育活動外収入 計	2,005
	事業活動支出の部	借入金等利息	2,391
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出 計	2,391
	教育活動外収支差額		△ 386
経常収支差額		△ 20,807	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0
		その他の特別収入	3,615
		特別収入 計	3,615
	事業活動支出の部	資産処分差額	121
		その他の特別支出	0
		特別支出 計	121
	特別収支差額		3,494
〔 予備費 〕			
基本金組入前当年度収支差額		△ 17,314	
基本金組入額合計		△ 20,240	
当年度収支差額		△ 37,554	
前年度繰越収支差額		△ 1,814,098	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		△ 1,851,652	
(参考)			
事業活動収入 計		763,302	
事業活動支出 計		780,616	

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和5年度 貸借対照表

千円

資産の部	
科目名	決算額
固定資産	1,176,796
流動資産	540,228
資産の部 合計	1,717,024
負債の部	
科目名	決算額
固定負債	306,065
流動負債	332,265
負債の部 合計	638,330
純資産の部	
科目名	決算額
基本金	2,930,346
第1号基本金	2,930,346
繰越収支差額	△ 1,851,652
翌年度繰越収支差額	△ 1,851,652
純資産の部 合計	1,078,694
負債及び純資産の部 合計	1,717,024

*** 会計監査について**

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和5年度 財産目録

千円

科目名	決算額
資産額	
基本財産	1,125,620
運用財産	564,962
収益事業用財産	26,442
資産額 合計	1,717,024
科目名	決算額
負債額	
固定負債	331,547
流動負債	332,265
負債額 合計	638,330
正味財産	1,078,694

令和5年度 事業報告書

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

学校法人戸早学園

監 査 報 告 書

令和 6 年 5 月 31 日

学校法人 戸早学園
理事会・評議員会 御中

学校法人 戸 早 学 園

監 事 上村篤弘

監 事 森田義彦

学校法人戸早学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）における学校法人の業務および財産の状況について監査を行いました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

記

1. 監査方法の概要

私たち監事は、理事会に出席するほか、理事、法人事務局からその職務の執行状況を徴収し、関係書類を閲覧し、業務および財産の状況を監査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類等について検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に対する決定および執行は適切であり、不正の行為または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類等は、学校法人の財産の状況および経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

1 法人の概要

I 法人設立理念

本学園は教育を通じ、人格の陶冶、正しい使命感の体得、教育的愛情を培い、真に有能な人材の育成を行うことを目的とする。

1. 教育理念（全学共通）

- (1) 人類普遍の真理を探求する姿勢の確立
- (2) 個の尊厳、基本的人権擁護の理解と心豊かな人間性の涵養
- (3) 専門的援助に必要な知識・技術の修得

2. モットー

「人が好き」 「人を支える心を学ぶ」

3. 教育方針

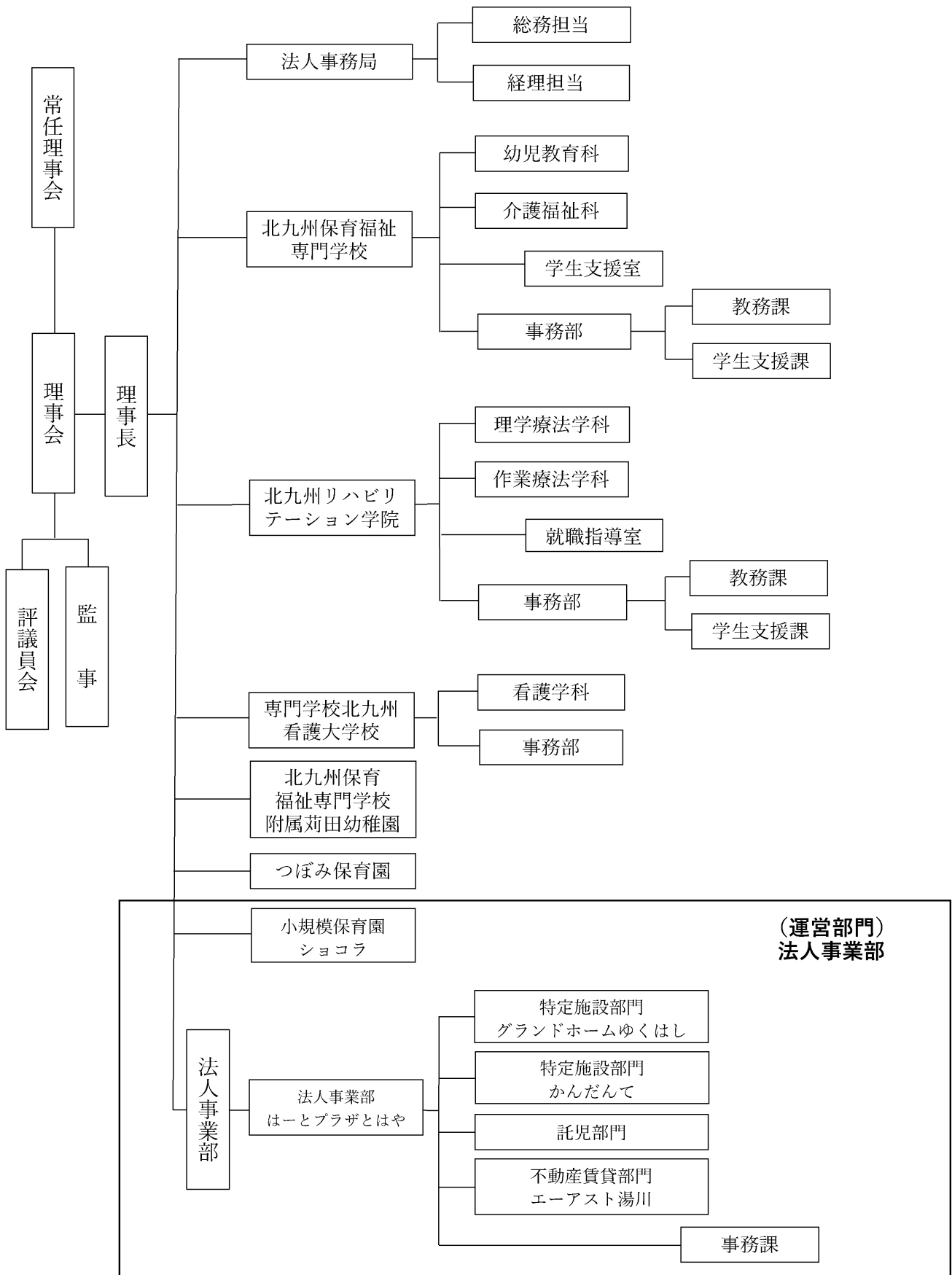
人を思いやる豊かな心を持った保育・福祉・医療のプロフェッショナルの育成

II 学校法人の沿革

昭和30年	4月	小倉市菜園場に私塾「小倉育英学館」を開設
昭和38年	4月	小倉育英学館を小倉区金田に移転
昭和39年		苅田町上片島に校地を取得
昭和40年	8月	学校法人戸早学園法人設立 初代理事長戸早孝太就任
昭和42年	4月	小倉南区湯川にいくえい幼稚園開園
昭和44年	4月	苅田町上片島に北九州幼児教員養成所開校 同附属苅田幼稚園開園
昭和45年	1月	厚生大臣より保母を養成する学校として指定
昭和51年	6月	専修学校（教育専門課程）の認可
昭和53年	12月	初代理事長戸早孝太逝去により二代理事長戸早康晴就任
昭和54年	4月	大分県中津市島田に中津育英学館開校 文部大臣より教員養成の無期限指定 第一若草寮竣工
	8月	校名を北九州保育専門学校に変更
昭和59年	3月	中津育英学館を譲渡
平成1年	3月	小倉育英学館廃止
平成2年	4月	介護福祉科（2年課程 1学年定員40名）設置
平成4年	4月	校名を北九州保育福祉専門学校に変更
平成9年	4月	介護福祉科40名定員を80名定員に変更 介護福祉専攻科（1年課程 定員40名）設置
平成11年	2月	二代理事長戸早康晴逝去により三代理事長戸早秀暢就任
平成11年	3月	附属苅田幼稚園新園舎落成 いくえい幼稚園閉園

平成15年	4月	苅田町上片島に北九州リハビリテーション学院（3年課程 理学療法学科・作業療法学科1学年定員40名）を開校
平成17年	7月	行橋市西宮市2丁目に総合福祉施設「はーとプラザとはや」開設
平成18年	6月	第二若草寮竣工
平成19年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科80名定員を40名定員に変更
平成20年	7月	小倉南区いくえい幼稚園跡地に賃貸アパート「エアースト湯川」オープン
平成23年	4月	小倉南区国立小倉医療センター敷地内に専門学校北九州看護大学校（3年課程 看護学科 1学年定員40名）開校
平成26年	3月	北九州保育福祉専門学校介護福祉専攻科廃止
平成27年	2月	北九州保育福祉専門学校 幼児教育科・介護福祉科及び北九州リハビリテーション学院 理学療法学科・作業療法学科 文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成28年	2月	専門学校北九州看護大学校 看護学科文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成29年	4月	苅田町与原に苅田町公募の介護付有料老人ホーム「かんだんて」開設
平成30年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科の募集停止 内閣府による企業主導型保育事業申請
平成31年	4月	北九州保育福祉専門学校幼児教育科100名定員を50名定員に変更
令和 1年	6月	苅田町与原に企業主導型保育事業「つぼみ保育園」開園
令和 3年	3月	小規模保育園「ショコラ」許認可 北九州リハビリテーション学院作業療法学科1学年定員を30名に変更
令和 3年	4月	小規模保育園「ショコラ」開園
令和 4年	3月	法人事業部（かんだんて）において特定技能（介護）外国人労働者採用
令和 4年	4月	附属苅田幼稚園 満3歳児保育および2歳児保育開始
令和 4年	7月	「EternalBridge（エターナルブリッジ）」 有料職業紹介事業許認可
令和 4年	8月	「EternalBridge（エターナルブリッジ）」 登録支援機関許認可
令和 6年	3月	総合福祉施設「はーとプラザとはや」内 子育てサポートセンター「Chi's（チーズ）」閉所

Ⅲ 組織・付属機関等の組織図



IV 所在地

学校法人 戸早学園

〒800-0343
福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-24-6636 FAX 0930-24-8045

北九州保育福祉専門学校

〒800-0343
福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-23-3213 FAX 0930-24-8045

北九州リハビリテーション学院

〒800-0343
福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-23-3653 FAX 0930-23-3370

北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園

〒800-0343
福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5
TEL 0930-23-3348 FAX 0930-23-3295

専門学校 北九州看護大学校

〒802-0803
福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 1 5 号
TEL 093-932-0123 FAX 093-932-3388

つぼみ保育園

〒800-0323
福岡県京都郡苅田町大字与原 1 1 5 6 番地
TEL 0930-24-0226 FAX 0930-24-0227

総合福祉施設 はーとプラザ・とはや

小規模保育園 ショコラ

〒824-0031
福岡県行橋市西宮市 2 丁目 2 番 3 5 号
TEL 0930-26-2610 FAX 0930-26-2611

エーアスト湯川

〒800-0256
福岡県北九州市小倉南区湯川新町 4 丁目 7 番 1 号

介護付有料老人ホーム かねだんて

〒800-0323
福岡県京都郡苅田町大字与原 2 0 番 2 号
TEL 0930-24-1088 FAX 0930-24-1880

V 設置する学校・学科等の入学定員・学生数の状況等

学校法人戸早学園

[1. 北九州保育福祉専門学校]

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	幼 児 教 育 科	50名	100名
	介 護 福 祉 科	H30より募集停止	-
	合 計	50名	100名

	学 科 名	1学年	2学年	合計
学生数	幼 児 教 育 科	32名 (36名)	40名 (26名)	72名 (62名)
	介 護 福 祉 科	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)
	合 計	32名 (36名)	40名 (26名)	72名 (62名)

[2. 北九州リハビリテーション学院]

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	理 学 療 法 学 科	40名	120名
	作 業 療 法 学 科	30名	90名
	合 計	70名	210名

	学 科 名	1 学年	2 学年	3 学年	合計
学生数	理 学 療 法 学 科	20名 (18名)	30名 (20名)	25名 (26名)	75名 (64名)
	作 業 療 法 学 科	21名 (17名)	11名 (20名)	15名 (12名)	47名 (49名)
	合 計	41名 (35名)	41名 (40名)	40名 (38名)	122名 (113名)

[3. 専門学校 北九州看護大学校]

	学 科 名	1 学年	2 学年	3 学年	合計
定員 学生数	看護学科	40名	40名	40名	120名
		42名 (39名)	42名 (39名)	41名 (38名)	125名 (116名)

[4. 北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園]

		定員	園児数	差異
園児数	2 歳		19名 (24名)	+ 5名
	満 3 歳	20名	3名 (4名)	+ 1名
	3 歳	90名	98名 (75名)	△ 23名
	4 歳	90名	72名 (98名)	+ 26名
	5 歳	90名	105名 (72名)	△ 33名
	合 計	290名	297名 (273名)	△ 24名

※ R4.4より定員変更 (満3歳児および2歳児保育開始)

[5. つばみ保育園]

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	7名 (5名)	△ 2名
	1 歳	27名	23名 (23名)	± 0名
	2 歳	27名	21名 (22名)	+ 1名
	合 計	60名	51名 (50名)	△ 1名

[6. 小規模保育園 ショコラ]

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	1名 (3名)	+ 2名
	1 歳	6名	8名 (8名)	± 0名
	2 歳	7名	8名 (9名)	+ 1名
	合 計	19名	17名 (20名)	+ 3名

※ R6.4より定員変更 (0歳4名、1歳7名、2歳8名 計19名)

- * 学校部門 [1~4] の学生数・園児数は学校基本調査(令和5年, 令和6年5月1日)より作成
- * つばみ保育園 [5]、小規模保育園ショコラ [6] の園児数は令和5年, 令和6年5月1日の人数
- * 学生数・園児数のカッコ内は令和6年度的人数

VI 役員及び教職員の概要

(1) 理事

理 事 長	戸早秀暢	法人事務局 事務局長	苅田町社会福祉協議会 理事
		専門学校北九州看護大学校 学校長	一般社団法人職業教育キャリア教育財団 監事
		つぼみ保育園 園長	
常任理事	中村邦光	法人事業部 部長	
		はーとプラザとはや 施設長	
常任理事	柴田康弘	北九州保育専門学校 校長	
		北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 園長	
理 事	福田玄祥		弁護士 福田・金弘法律事務所
理 事	和田英気		(株)ニシコン 顧問
理 事	朔 晴久		医師 小倉到津病院 理事長兼院長
監 事	上村篤弘		上村紙業(株)代表取締役
監 事	森田義孝		行橋商工会議所専務理事

(2) 評議員

第1号	戸 早 秀 暢	専門学校北九州看護大学校 学校長
〃	中 村 邦 光	法人事業部部長 はーとプラザ・とはや施設長
〃	柴 田 康 弘	北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 園長
〃	野 稲 吉 継	北九州保育福祉専門学校 事務長
〃	辻 和 明	北九州リハビリテーション学院 学院長
第2号	牧 野 洋	(有)ベスト保険 代表取締役
〃	久 篠 守 生	久篠司法書士事務所 所長
〃	佐 藤 弘 樹	法人事業部次長 かんだんて施設長
〃	湊 村 明 彦	北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 主任
〃	長 城 晃 一	福岡大学勤務
第3号	坂 本 東 次 郎	(有)坂本不動産 代表取締役
〃	朔 晴 久	医師 小倉到津病院 理事長兼院長
〃	和 田 英 気	(株)ニシコン 顧問
〃	稲 富 武 志	大原病院 副院長
〃	和 田 昭 雄	元戸早学園職員

注) 第1号 … 法人職員のうち理事会で推薦され評議員会で選任されたもの5名
(寄付行為第25条第1項第1号)

第2号 … 法人設置の学校を卒業したもののうち25歳以上で理事会で選任されたもの5名
(寄付行為第25条第1項第2号)

第3号 … 学識経験者のうちから理事会において選任されたもの5名
(寄付行為第25条第1項第3号)

労務構成表

		正規職員	嘱託職員	臨時職員	合計
法人事務局	職員	4	5	1	10
北九州保育福祉 専門学校	教員	3	7	20	30
	職員	4	1	2	7
北九州リハビリ テーション学院	教員	12	1	27	40
	職員	3	1	3	7
専門学校 北九州看護大学校	教員	7	4	65	76
	職員	2	0	2	4
苺田幼稚園	教員	16	1	17	34
	職員	0	4	2	6
つぼみ保育園	職員	13	0	11	24
法人事業部 (はーとプラザ・とはや)	職員	34	2	8	44
法人事業部 (かんだんて)	職員	21	1	7	29
小規模保育園 ショコラ	職員	8	0	1	9
合計	教員	38	13	129	180
	職員	89	14	37	140
	計	127	27	166	320

2 事業の概要

昨年5月に新型コロナウイルスの位置付けが2類から5類に分類変更となった事により、人、モノ、カネの流れが活発になり、少しずつ日常を取り戻していった感はあるが、物価の高騰は増すばかりで、その余波は徐々に増加の一途を辿っている。世界に目を転じると、ロシアとウクライナの長引く抗争、更にパレスチナとイスラエルも争いに一步も引かない膠着状態となり混沌としている。

また、国内事情は、ゼロ金利政策が実質解除となり、瞬く間に急激な金利上昇局面による企業収益の圧迫、空前の超売り手市場により、大学生の就職内定率が統計上過去最高を更新するなど、これらの勢いが今後どのような方向に向かい、どのような影響を及ぼすのかはある程度予想はできるが、決して良い答えが出るとは到底思えない。

さて、令和5年度の学園の事業概要であるが、経営改善5ヵ年計画の最終年度を無事終えた。この5年間の結末は、当初の計画をわずかに上回っただけに留まったが、副産物として得た物、それは、職員の意識の向上という金額で表せない無限の価値であったと述懐する。

活動報告の詳細については後述するが、教育活動全般においては、ほぼ当初の計画通りに実施できたのではないかと申し上げたい。これらも5ヵ年計画の進捗の中で少しずつ積み上げて来た事が実った果実と言っても過言ではない。

各部門長中心による月一回の「全体委員会」、広報担当が中心となった「広報会議」とが渾然一体となり、「教育」、「経営」、「募集」の三本柱を基軸として推進していく事が、学園の今後のあるべき姿を形作る重要な要素であると改めて実感が増した。以前から申し上げているシナジー効果の向上を今後にも期待したい。

また、収益事業の柱である法人事業部の収益改善も明るい材料である。結果、開設当初から長年運営していた認可外保育施設 Chi's (チーズ) の閉園は誠に断腸の思いであったが、今後は新たな体制の元、飛躍的な改善を果たしてもらおう事で帳消しとなるであろう。

さらに、収益部門のもう一つの課題である人材確保に関する事業が次なるステージに向かって進んでいる事が更なる好材料の一つとなるかが注目である。年度末で何とかスタートアップに漕ぎつけたが、相手国であるミャンマーの国内情勢を憂慮しながら慎重に進めていかねばならない。内容を今一度精査して、計画通りに遂行することが次年度への継続課題である。

更に、現在次年度施行に向けて進行中の「私立学校法」改正に向けた準備が本格化する中、学園にとって最良の寄附行為の策定は最重要課題である。令和6年から7年にかけて大きな変革が必要かつ重要な時期となる。改めて土台作りを教職はもとより役員、評議員総動員して成し得なければならない。

最後に、次年度は新経営改善5ヵ年計画がスタートする。見通しは前5ヵ年より決して楽観できない状況である。正に学園にとって本当に大事な5ヵ年を計画通りに推進する覚悟である事を付け加えて概要説明の結びとさせて頂く。

I 令和5年度主な事業活動（総括および年間行事）

1. 北九州保育福祉専門学校

[総括]

保育者養成校として、学生の保育者としての資質能力の育成及び保育の実践力の養成に関しては、顕著な成果を上げていると総括できる。入学してきた学生を2年間という短期間において現場で通用する保育者に育てるため、本校の教員、事務職員は一丸となって、全力で学生をサポートしており、他校の追隨を許さない程きめ細かい指導を行っている。

その成果は、学生の授業評価にも表れており、8割以上の学生が、本校の授業を受けて良かったと「授業に関する学生アンケート」に答えている。また、近隣の保育園、幼稚園からも高い評価を得ており、就職率は令和5年度についても、100%を達成している。

課題は学生募集である。定員50名に対し、令和5年度の入学者数は31名。令和6年度の募集については34名と微増したとはいえ、定員充足率は依然として68%にとどまっている。少子化や、マスコミの不適切保育やコロナ禍での保育現場の困難さの報道などによる高校生の保育者志望の減少等、様々な要因が考えられよう。しかしながら、コロナ後の今日、子ども家庭庁の新設や政府の「異次元の少子化対策」、保育現場での保育士や幼稚園教諭不足、さらには全国的な短期大学の募集停止や4年制大学への移行など、本校の実践的な幼児教育の中身が注目される時代が徐々に来ていると思われる。

令和5年度の新たな取り組みとしては、社会人対象に「学び直し」入学を促進するための説明会の実施や自治体、ハローワークへの広報を行い、また近隣の高校生を対象に、保育の魅力伝える「保育体験」を附属幼稚園の協力を得て実施した。「保育体験」は、30名の熱心な保育者志望の高校生の参加を得て、高校現場にも好評であった。

令和6年度についても、募集に繋がる様々な活動を精力的に取り組みながら、より多くの入学者の獲得に全力を挙げたい。加えて介護福祉科の復活に向けて、具体的な協議を開始する。

[年間行事]

- 4月 2日 第56回入学式
- 4月 3日 1年生OR消費者教育
- 4月24日 特別授業 熊丸みつ子先生
- 6月 6日 第1回教育課程編成委員会
- 7月 5日 職業実践演習（3日間）
- 7月22日 学校関係者評価委員会
- 9月29日 特別授業『劇団のはなワークショップ』1年
- 10月18日 特別授業 納富俊郎先生
- 10月29日 学園祭
- 11月10日 学習発表会
- 11月24日 防災訓練
- 12月 5日 第2回教育課程編成委員会
- 1月20日 第2回学校関係者評価委員会
- 3月 5日 第55回卒業証書授与式

2. 北九州リハビリテーション学院

[総括]

令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5月8日より5類感染へと移行された。しかし、臨床実習施設である多くの医療施設等ではコロナ感染対策は緩められることなく継続され、マスク着用など基本的予防を強く求められた。よって、学院内においても手洗いやマスク着用を引き続き基本的感染予防として努めるように学生に協力を求めた。学内外の教育活動に関しては、5類感染症に引下げ後は徐々に活動を拡大した内容で学生間交流を含めて実行した。しかし一部の医療施設等では、集団見学においては感染拡大を危惧されて許諾を得られなかった。

新任教員として4月より精神科経験の作業療法士教員が着任した。研究業績の経験も多数あり最新の作業療法についての授業は基より、国試での精神科問題の対応や募集活動に関しても積極的な意見を大いに参考にした。学生募集については、体験企画内容やプレゼンも刷新し北リハの特色を強調したものにした。管理職には高校訪問、専任教員には高校募集ガイダンスを主な募集活動として継続するようにした。しかし、OC参加者数は前年度の令和4年度と比較して16名（実数）減少。歩留まり率については若干向上したが、新入学者数の増加に至らず33名で昨年の41名よりさらに8名減少となった。

国家試験対策は、近年、学習経験が少ない学生も存在するため自習学習が出来ずに担当教員が物理的に可能な範囲で張り付き指導をした。結果は理学1名・作業2名が不合格であった。昨年の国試不合格者2名は、合格して就職も決まった。北リハにおいては、国試不合格者の再チャレンジは、過去全員合格していることは継続している。今後も国試対策においては年々難航度が深まり、1年次からの学習に加えることや集中して取り組む姿勢、学習習慣の取得も重要であり継続して協議を行うようにしている。

[年間行事]

4月 2日	第21回入学式
4月 4日	1年健康診断
4月10日	救急救命講習会（理学1年）
4月17日	救急救命講習会（作業1年）
5月22日	抗体検査、人権セミナー（1年生） 人権セミナー（1年生）
5月29日	クラスマッチ
5月31日	防火避難訓練（雨天延期）
6月23日	交通安全セミナー（1年）
7月 1日	第1回教育課程編成委員会
7月22日	第1回学校関係者評価委員会
8月16日～18日	解剖学実習 九州歯科大学（2年生）
8月26日	行橋夏まつり こすもっぺ参加
9月21日	就職活動セミナー（3年生）
9月24日	マナー講座（1年生）
9月25日	就職説明会
10月29日	青龍祭
11月 7日	防災避難訓練
11月23日	行橋市シーサイドハーフマラソン ランニングクリニック 全3回(12/23・1/13)参加指導

1月28日	人権セミナー（教員対象）	
1月2日	第2回教育課程編成委員会	
1月7日	北九州ゆめみらいワーク参加	～8日
1月20日	第2回学校関係者評価委員会	
2月18日	第59回国家試験	
3月6日	第19回卒業証書授与式	会場未定
3月9日	入学前セミナー	新入学予定者
3月14日	新年度会議	
3月23日	臨床実習指導者会議	

3. 専門学校 北九州看護大学校

[総括]

令和5年度は、コロナウィルス感染症も5類に位置づけされたことで、計画した教育活動は8割方は実践できた。特に、本校の強みとする小倉医療センターとの連携の中でも、臨地実習が年間を通して行えたことは学生に有益な看護教育を提供できた。また、新旧カリキュラムが並行する最後の年度であったが、教職員全員が一丸となって工夫や、改革を積極的に行い一年間無事に終えられた事は、次年度からの完全新カリキュラム実施に向けて大きな弾みを付けた。

入口（学生募集）、中身（教育活動）、出口（就職・国家試験）を個別に振り返ると、入学者は、受験者数の伸び悩みと、入学手続き後の大学合格による辞退者で、36名と定員確保は出来なかった。少子化と看護大学新設が見込まれる中での募集のあり方と学校説明会の内容を再構築し魅力ある本校をいかに伝えていくのかを職員を交えて対策を講じたい。教育面では、感染防止を行いつつ、従来 of 行事を含めた教育活動は全て実施できた。また、新カリ導入2年目としての新規実習施設の開拓も進み、完全移行に向けた準備は整った。

教育の集大成である国家試験は、1名の不合格者が出て、100%合格とはならなかったが試験対策は効果が見られた。就職に関しては、小倉医療センターへ20名就職し、期待に応える成果を出せたことは、進路保障を含め満足いく成果を達成できた。

[年間行事]

4月3日	第13回入学式
5月2日	新入生歓迎会、学友会総会
5月12日	ナイチンゲール生誕祭（看護学科1年生）→中止
6月7日	第1回教育課程編成委員会
7月22日	第1回学校関係者評価委員会
9月8日	2年生保護者会
9月25日	北九州リハビリテーション学院合同スポーツ交流会（看護学科1年生）
9月29日	防火訓練（看護学科1, 2年生）
10月8日	指定校・推薦・社会人I入試
10月27日	宣誓式（看護学科1年生）
11月3日	学校祭（校内で学生関係者のみ）
12月3日	一般入試I期
12月8日	卒業生懇談会
12月13日	第2回教育課程編成委員会
1月25日	第2回学校関係者評価委員会

1月28日	一般入試Ⅱ期・社会人Ⅱ期入試
2月11日	第113回国家試験
3月3日	一般入試Ⅲ期
3月8日	10回卒業証書授与式（小倉医療センター体育館）

4. 苜田幼稚園

[総括]

令和5年度事業活動報告として、2年目となる2歳児クラスは、経験のある教諭を配置したこともあり、園児も保護者の方も安心して園生活を送ることができ、一定の園児数確保となっている。令和6年度の募集を24名定員としたが、令和6年9月には、30名となる見込み。近隣園との競合や少子化の影響、保育時間等に課題もあるが、評価をいただいていると考えている。今後、近隣状況を踏まえ、他部門と協議して課題対応をしていきたい。自然環境を生かした保育では、戸外での昼食実施や山への散策、自然物を使った製作等、保育内容に取り入れることを意識し、計画・実施ができ、本園ならではの保育活動となった。また、このような取り組みをSNSで配信することで、本園の豊かな環境、保育内容をより保護者の方達に伝えるとともに、入園希望者へのアピールにも繋がっている。引き続き実施し、定員確保につなげていきたい。

[年間行事]

4月8日	入園式
6月9日	避難訓練（火災）
7月3日	プール開き
7月22日・23日	一泊キャンプ（年長組）
9月3日・10日	入園説明会
10月3日・5日	運動会見学日
10月15日	大運動会
10月19日	平尾台遠足（年長組）
10月24日	総合公園遠足（年中組）
11月7日	メタセの杜（年少組）
11月8日・9日	芋ほり
11月11日	2歳児クラス四園合同運動会ごっこ
11月22日	避難訓練（火災：苜田町消防本部指導有）
12月9日・10日	お遊戯会
1月22日	お店屋さんごっこ
2月9日	避難訓練（地震・津波）
3月2日	竹馬大会
3月16日	卒園式

5. つばみ保育園

[総括]

令和5年度事業活動報告として、「定員60名の安定的な確保」は、新たな定員確保への課題がみえた。育児休業取得者が増え、0歳児クラスの定員の確保が年度末に定員を満たす状況となっている。このことは今後も大きく影響してくることと捉えている。「安心で安全な保

育提供と保護者支援」は、園内研修、外部研修を通して、保育の質の向上に努め、子どもを取り巻く環境や保護者支援において職員で共有し、取り組めていた。「自治体・地域との連携強化」は、自治体との連携も継続的にスムーズであり、今後も関係構築に努めていく。有効な企業との契約ができており、安定的な入園希望者（企業枠）へとつながるものとなっている。

総合的に、日頃の保育活動を SNS で配信することや登園降園時の保護者対応等を通して、安心で安全な保育提供、保護者支援の構築ができています。運営面でも安定を見せており、評価に値すると考えています。一方、定員確保や監査対応など課題もあり、今後も対応策等検討し努めていきたい。

[年間行事]

- 5月 9日・10日 内科検診
 - 5月 11日 届出保育施設等の立入調査（福岡県田川保健福祉事務所監査指導課）
 - 6月 1日 開園四周年
 - 7月 26日 歯科検診
 - 8月 4日 専門的財務監査（児童育成協会）
 - 10月 21日 親子ふれあい参観日
 - 10月 23日 防犯・不審者訓練（行橋警察署依頼）
 - 11月 7日・8日 内科健診
 - 11月 9日 2歳児芋掘り（苅田幼稚園）
 - 11月 11日 2歳児クラス四園合同運動会ごっこ
 - 11月 18日 秋祭り
 - 11月 30日 立入調査（児童育成協会）
 - 1月 4日 令和6年度入園申込受付開始
 - 2月 17日 親子ふれあい参観日
 - 3月 18日 防犯・不審者訓練（園内職員のみ）
 - 3月 29日 2歳児お別れ会
- ※ 毎月・健康診断 避難訓練 苅田幼稚園への園外保育（1歳児・2歳児・5月から実施）

6. 法人事業部

[総括]

令和5年度は特定施設部門において、「グランドホームゆくはし」については、前年度と比較し若干稼働率を向上させることができ（年間平均稼働率91.7%→92.7%）、黒字で期末を迎えることができた。「かんだんて」については、期首の稼働率が低く第3四半期から第4四半期にかけて回復基調となったが、前年度と比較して稼働率が低下した（年間平均稼働率92.3%→88.8%）。収支については助成金の影響で黒字計上することができた。

人材確保においては、「グランドホームゆくはし」は年間離職率10.6%（前年2.2%）と離職率が高くなったが、概ね目標値に落ち着いた。「かんだんて」については依然として離職率が高く、年間離職率24.2%（前年25.6%）と前年に続き高い数値で課題である。両施設ともに中間管理職や一般職員の育成に関しては引き続き課題を残している。

託児部門においては、黒字化できる要素がなく、令和5年度をもって閉園することとし、粛々と閉園作業を行い、大きな問題なく閉園できた。収支については、最少人数で最大限の園児

受け入れを行うことにより、前年度同様の赤字金額で期末を迎えることができた。

新事業である、有料職業紹介事業・登録支援事業「Eternal Bridge」に関しては、令和6年4月開業に向け着々と準備を進め、従来のカンボジアの日本語学校との連携に加え、ミャンマーの送出し機関（兼日本語学校兼スキルセンター）とも協定を交わすことができた。

法人事業部全体の結果としては、託児部門の赤字がネックとなったが、退職金引当等の決算処理実施後はプラス収支が予測される。

7. 小規模保育園ショコラ

[総括]

令和5年度は令和4年度と比較すれば劣るものの、期首17名のスタートすることができた（前年度19名スタート、定員の120%まで受入可能）。年間平均稼働率も106.1%（前年113%）の結果となり、予算通りの黒字を挙げることができた。職員の確保については退職者があったが、託児部門（子育てサポートセンターChi's）の閉園に伴い職員を併合したことで、職員不足は回避することができた。

[年間行事]

4月 1日	令和6年度開園	
5月 9日	内科健診	
6月10日	歯科検診	
7月17日	プール開き	
9月25日	防犯・不審者訓練	
10月31日	どんぐり拾い（行橋総合公園）	
11月 5日	七五三参り（正八幡宮）	11月 9日 運動会ごっこ
11月 6日	2歳児芋掘り（苅田幼稚園）	
11月14日	内科健診	
11月30日・12月3日	保育参観・お遊戯会	
11月26日	お遊戯会練習見学（苅田幼稚園）	
12月26日	お餅つき大会見学（グランドホームゆくはし）	
1月 8日	初詣（正八幡宮）	
2月 3日	おたふくくぐり（正八幡宮）	
3月 8日	観劇会	3月14日 2歳児お別れ遠足
※ 毎月	・身体測定・避難訓練・誕生日会	
※ 苅田幼稚園への園外保育（2歳児	・ 5月 以降参加）	

8. 法人事務局

[総括]

令和5年度は開設2年目の「小規模保育園ショコラ」の運営も安定し、日々の人事・財務・総務業務においては問題なく取り組みできた1年であった。ただし、財務面では、令和5年度入学（入園）学生・園児数の減少の影響が大きく、大幅な収入減となった。また、令和6年度入学（入園）者数も引き続き厳しい状況で、今後数年間は学納金収入が厳しい状況が続くことになる。支出においても、昨年度より続く物価高騰等の影響が大きく、経費支出が増加傾向で、人件費支出も人員増や初任給アップなどの要因で増加する見込である。全教職員協力して、収入増経費削減

に取り組む必要がある。

経営改善5ヶ年計画の最終年度（5年目）としては、少し厳しい結果となったが、令和6年度は、3月に完成した「新5ヶ年計画」の目標達成に向けて勇往邁進しなければならない。

*令和5年度に実行した大型設備投資は以下の通り

北九州保育福祉専門学校新ピアノレッスン室改築工事	3,855,000 円
苅田幼稚園園バス車内置き去り防止システム	1,002,980 円（補助金対象事業）
北九州保育福祉専門学校介護棟2教室エアコン付替工事	2,530,000 円
学生管理システムサーバー入替・データ移行作業	3,017,300 円 ※リース

9. 広報部門 ※専門学校3校

[総括]

例年に比べオープンキャンパスの参加者が減少した為、受験者数が減少した。要因として考えられることとして、3校共通する総合的な問題は18歳人口減少。個別の問題として、北保は近隣の同系統の短期大学が行う入学金減免や職業訓練校増加により社会人が分散したこと、幼児教育を目指す学生の減少が考えられる。「カリキュラムの充実や面倒見の良い学校」であることだけでは、定員充足低下に歯止めがかけられない。北リハは、近隣ライバル校2校への流入に歯止めが利かない。学費差と立地条件などもあるが、高校生との接触機会が減っている現実がある。「必ずなれる学校」でのアピール策を講じている。北看は4年制大学への入学志向と看護志望離れが考えられ、オープンキャンパス参加者、受験生の減少となった。入試問題の変更による社会人受験者は増加していることは良い傾向であった。出前オープンキャンパスやWeb戦略、部活生のバス動員といった新たな取り組みを行い学生の確保に努めた。

10. 職業訓練委託事業による入学

福岡県立小倉高等技術専門学校より職業訓練の委託を受け令和5年度入学生を受け入れた。

幼児教育科 7名

II 就職状況

卒業生の就職状況は好調を維持している。求人数、就職内定率は以下のとおりである。

	求人数	就職内定率
幼児教育科	3,967件	100%
理学療法学科	2,740件	100%
作業療法学科	2,271件	100%
看護学科	4,706件	100%